

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 2 区分
【発行日】平成 26 年 8 月 21 日 (2014.8.21)

【公開番号】特開 2013-231081 (P2013-231081A)
【公開日】平成 25 年 11 月 14 日 (2013.11.14)
【年通号数】公開・登録公報 2013-062
【出願番号】特願 2013-162201 (P2013-162201)
【国際特許分類】

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/54

A 6 1 P 3/10

【手続補正書】
【提出日】平成 26 年 7 月 9 日 (2014.7.9)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

チャイニーズハムスター卵巢細胞培養物において産生されるヒト酸 α - グルコシダーゼを含む、I I 型糖原病を有するヒトの治療、または I I 型糖原病に関連する心筋症を有するヒトの治療のための医薬であって、

ここにおいて、前記ヒトは内因性酸 α - グルコシダーゼに対して交差反応性免疫反応性物質 (CRIM) - 陽性である、
前記医薬。

【請求項 2】

チャイニーズハムスター卵巢細胞培養物において産生されるヒト酸 α - グルコシダーゼを含む、I I 型糖原病を有するヒトの治療、または I I 型糖原病に関連する心筋症を有するヒトの治療のための医薬であって、

ここにおいて、前記ヒトは内因性酸 α - グルコシダーゼに対して交差反応性免疫反応性物質 (CRIM) - 陰性であり、そして、

ここにおいて、ヒト酸 α - グルコシダーゼは免疫抑制療法または免疫治療法と組み合わせて投与される、
前記医薬。

【請求項 3】

チャイニーズハムスター卵巢細胞培養物において産生されるヒト酸 α - グルコシダーゼを含む、I I 型糖原病を有するヒトの治療、または I I 型糖原病に関連する心筋症を有するヒトの治療のための医薬であって、

ここにおいて、前記治療は、治療されるヒトが内因性酸 α - グルコシダーゼに対して交差反応性免疫反応性物質 (CRIM) - 陽性であるか、C R I M - 陰性であるかを決定することを含み、

前記ヒトが C R I M - 陽性の場合、前記医薬を投与される、
前記医薬。

【請求項 4】

チャイニーズハムスター卵巢細胞培養物において産生されるヒト酸 α - グルコシダーゼ

を含む、ⅠⅠ型糖原病を有するヒトの治療、またはⅠⅠ型糖原病に関連する心筋症を有するヒトの治療のための医薬であって、

ここにおいて、前記治療は、治療されるヒトが内因性酸 α -グルコシダーゼに対して交差反応性免疫反応性物質(CRIM)-陽性であるか、C R I M - 陰性であるかを決定することを含み、

前記ヒトがC R I M - 陰性の場合、免疫抑制療法または免疫治療法と組み合わせて、前記医薬を投与される、

前記医薬。

【請求項 5】

ⅠⅠ型糖原病が、幼児ⅠⅠ型糖原病、若年性ⅠⅠ型糖原病、または成人発症ⅠⅠ型糖原病である、請求項 1 - 4 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 6】

ⅠⅠ型糖原病が、幼児ⅠⅠ型糖原病である、請求項 1 - 4 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 7】

ヒト酸 α -グルコシダーゼが、体重の 1 キログラム当たり 15 mg 未満の酸 α -グルコシダーゼの投与に適した形態で提供される、請求項 1 - 5 のいずれか 1 項に記載の医薬。

【請求項 8】

ヒト酸 α -グルコシダーゼが、体重の 1 キログラム当たり 1 ~ 10 mg の酸 α -グルコシダーゼの投与に適した形態で提供される、請求項 7 記載の医薬。

【請求項 9】

ヒト酸 α -グルコシダーゼが、チャイニーズハムスター卵巢細胞培養物において産生される組換えヒト酸 α -グルコシダーゼの前駆体である、請求項 1 - 8 いずれか記載の医薬。

【請求項 10】

毎月、月に 2 回、毎週、週に 2 回または毎日である規則的な間隔で投与される、請求項 1 - 9 いずれか記載の医薬。

【請求項 11】

静脈内、筋肉内、髄腔内、または脳室内に投与される、請求項 1 - 10 のいずれか 1 項に記載の医薬。